

## 出雲市における症候群サーベイランス

やま うち とし ろう<sup>1)</sup> すぎ うら ひろ あき くま くら しゅん いち  
 山 内 利 朗<sup>1)</sup> 杉 浦 弘 明<sup>2)</sup> 熊 倉 俊 一<sup>3)</sup>  
 ひら が みつ お いま むら とも あき おお くさ やす し  
 平 賀 瑞 雄<sup>4)</sup> 今 村 知 明<sup>5)</sup> 大 日 康 史<sup>6)</sup>

キーワード：症候群サーベイランス，感染症流行，アウトブレイク，  
 早期探索，インフルエンザ

### 要 旨

インフルエンザをはじめとした感染症の流行の速やかな把握とその情報の提供は，地域の医療機関における診療のみならず学校等の教育機関，行政等で感染対策を講じる上で有益である。出雲市の複数の医療機関では，感染症の早期探索を目指し，地域住民または患者を対象に，「発熱」，「呼吸器症状」，「下痢」等の症状を中心にした症候群サーベイランスシステムを既に導入しているが，この度，本症候群サーベイランスシステムを活用し，インフルエンザなどの流行が想定される冬期，すなわち小中学校における2009年3学期間に焦点を当てて外来症候群サーベイランス，学校欠席者サーベイランス及び Web を介したサーベイランスを実施し，その有用性を検討した。いずれのサーベイランスにおいても，「発熱」，「呼吸器症状」において，出雲地域におけるインフルエンザの流行に先行して，感染症の流行を察知した。これらの情報を，リアルタイムに関連した医療機関，行政及び学校等教育機関に発信することで，当該情報を速やかに把握でき，感染対策上有効であり，本サーベイランスシステムの有用性が示唆された。

### はじめに

国立感染症研究所感染症情報センター及び都道府県行政より提供される感染症発生動向調査は，

地域における感染症の発生状況を知る上の重要な指標となっている。しかしながら，本調査報告は，感染症発症後の診断に基づいた集計結果の情報提供であるため，感染症流行の早期探索には必ずしも有用ではない。現在，新興感染症，生物テロリズム等の脅威に対して，感染症流行またはアウトブレイクの速やかな探索の在り方が検討されつつあり，とりわけ，症候群サーベイランスに大きな期待がよせられている。症候群サーベイランスは，

Toshiro YAMAUCHI et al.

- 1) 島根大学大学院医学系研究科
  - 2) 医療法人医純会すぎうら医院
  - 3) 島根大学医学部地域医療教育学
  - 4) 島根県出雲保健所
  - 5) 奈良県立医科大学健康政策医学講座
  - 6) 国立感染症研究所感染症情報センター
- 連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町89-1